

石西 自然再生 礁湖

石西礁湖自然再生 ニュースレター 2007.8

5

第5回 石西礁湖自然再生協議会が開催されました

自然再生推進法に基づく「石西礁湖自然再生協議会」が平成18年2月に設置され、石西礁湖の豊かなサンゴ礁生態系を取り戻すための取り組みが進められています。

今回のニュースレターでは、第5回協議会の様子をご紹介します。

石西礁湖(せきせいしょうこ)の自然再生を目指す「石西礁湖自然再生協議会」の第5回協議会が、平成19年7月5日(木)に石垣市で開催されました。

今回の協議会では、石西礁湖の自然再生を進めていく上で骨子となる「自然再生全体構想(案)」のうち、「展開すべき取組」と「役割分担」について説明が行われました。

展開すべき取組については、これまでの議論などを踏まえ、大きく6つにまとめたことが報告され、委員による議論が行われました。

また、自然再生全体構想が完成した後の協議会の進め方についても説明がなされ、今後、具体的なアクションを行う際に必要となる自然再生事業実施計画の作成についても説明されました。

今回のニュースレターでは、自然再生全体構想の内容を中心にご紹介します。



協議会開催の様子



キャッチコピーを選定中

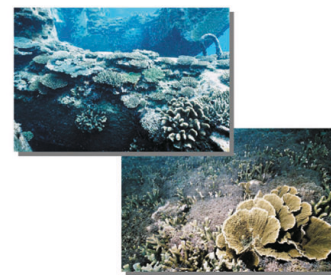
※キャッチコピーについては、2ページ目を参照してください。

「沖縄の港湾におけるサンゴ礁調査の手引き」作成のお知らせ

沖縄総合事務局では、県内の港湾整備(那覇港・平良港・石垣港など)を進めるにあたり港内外の自然環境へ配慮しつつ整備を行ってきました。その結果、防波堤や岸壁などの港湾構造物にサンゴ幼生が自然着生し、サンゴの生育が確認されました。これは、港湾構造物が物流機能としての役割ばかりでなくサンゴの成育場を新たに創出することで、港湾構造物と自然との共生への可能性を示すものであります。自然(サンゴ)と共生する港湾の整備を実現するために、これまで港湾における様々なサンゴ礁調査を行ってきました。

今回、沖縄総合事務局では、各港湾で実施してきた環境調査やモニタリング調査等の調査手法を整理し、港湾でのサンゴ礁調査の指針となるように「沖縄の港湾におけるサンゴ礁調査の手引き」を作成しました。手引きでは、港湾におけるサンゴ礁調査のうち、「サンゴ群集の健康診断調査」と「サンゴ群集の保全・再生技術開発調査」についてとりまとめています。

沖縄の港湾におけるサンゴ礁調査の手引き

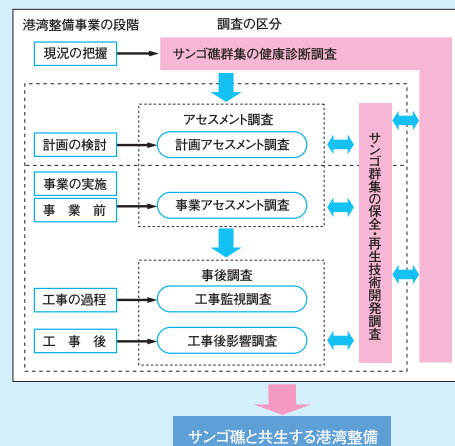


内閣府 沖縄総合事務局
開発建設部 港湾計画課
平成19年3月

今回作成した手引き

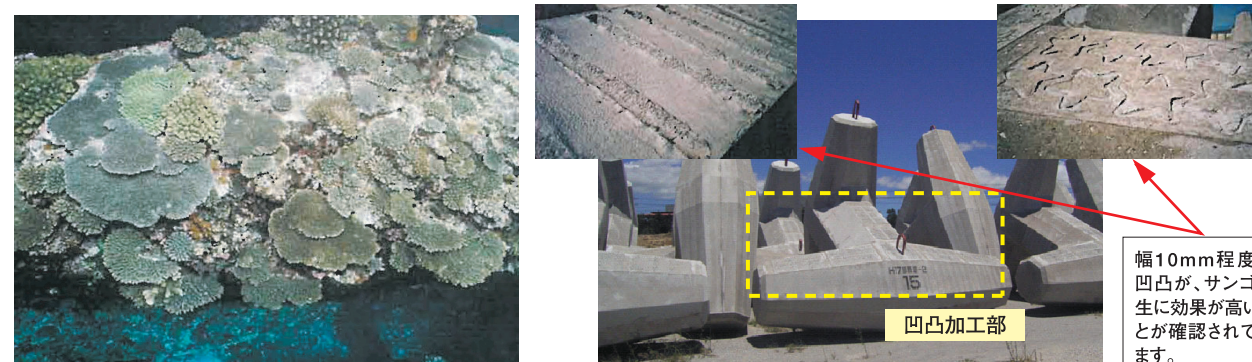
サンゴ群集の健康診断調査

自然環境を可能な限り再生・保全するという観点で捉え、港湾整備事業、港湾内の環境の基礎情報を定期的、継続的、統一的に収集・蓄積することを目的として実施するものです。



サンゴ群集の保全・再生技術開発調査

港湾をサンゴ群集の再生可能な場として捉え、個別事業に対する環境保全措置としてのサンゴ群集の保全・再生技術の開発、推進を目的として実施するものです。



消波ブロックに自然着生したサンゴ

サンゴ着生促進に配慮した凹凸加工を施した異形ブロック

幅10mm程度の凹凸が、サンゴ着生に効果が高いことが確認されています。

今後は、様々なサンゴ礁調査の場面で活用していただければと思っておりますので、興味のある方は下記までご連絡ください。

内閣府 沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課設計班 TEL:098-860-5338

編集
発行

石西礁湖自然再生協議会運営事務局

環境省 那覇自然環境事務所 内閣府 沖縄総合事務局開発建設部港湾計画課

【住所】〒907-0011 沖縄県石垣市八島町2-27 環境省石垣自然保護官事務所内

【電話】0980-82-4768 【FAX】0980-82-0279

【E-mail】okironc@coremoc.go.jp 【自然再生ホームページ】http://shizensaisei.com/

石西礁湖自然再生全体構想について

これまで、4回の石西礁湖自然再生協議会を通じて、「石西礁湖自然再生全体構想」の作成に向けて議論を続けてきました。今回の協議会では、これまでの議論を総括した最終的な案についての説明と意見交換が行われました。

今後、完成した自然再生全体構想を基に、具体的な計画(自然再生事業実施計画)が各委員により作成され、石西礁湖の自然再生に向けた各種取組が行われていくことになります。

「自然再生全体構想」には、自然再生推進法に基づき、以下の事項を記載することが求められています。

1. 自然再生の対象となる区域
2. 自然再生の目標
3. 協議会に参加する者の名称又は氏名及びその役割分担
4. その他自然再生の推進に必要な事項

石西礁湖自然再生全体構想では、「自然再生の対象となる区域」と「自然再生の目標」については既に決定しており、ニューズレターの第3号に特集しております。詳しくは石西礁湖自然再生のホームページ(<http://shizensaisei.com/>)をご覧ください。

今回の協議会では、これまでに議論された「サンゴ礁生態系の保全・再生における課題」、「主な原因」、「原因に応じた取組」をまとめた「展開すべき取組」及び、その取組を行う「役割分担」について特に集中的に議論がなされました。

「展開すべき取組」としては下表のように大きく6つの取組を行うことが示され、議論がなされました。

石西礁湖の自然再生を進めるために展開すべき取組	
攪乱要因の除去	オニヒトデ等による食害及び病気への対応 赤土等流出防止対策 排水等対策 水産資源管理の推進 観光手法の改善 生活スタイルの改善 漂着ゴミ対策 異常気象対策
良好な環境創成	サンゴ礁生態系の再生 沿岸域の生態系の再生 環境に配慮した構造物の設置
持続可能な利用	適切な利用の推進 保護区等の指定
意識の向上・広報啓発	サンゴ礁生態系に関する一般的な理解の増進 関連産業、生活等における意識の向上 観光客等の意識向上につながる観光の推進
調査研究・モニタリング	サンゴ礁生態系の健全性の把握・モニタリング 社会学的調査研究 対策手法等に関する調査研究
活動の継続	民間による活動の推進 事業の評価 取組に関する広報

※最終的な石西礁湖自然再生全体構想では修正があり得ます。



協議会開催の様子



議論の様子



応募者からの挨拶の様子

～ 石西礁湖自然再生のキャッチコピー決定～

石西礁湖の自然再生を進めていく上でのキャッチコピーを協議会委員から公募し、委員の投票により以下のように決定しました。

「島人の宝 豊かな海を守る」

今後はこのキャッチコピーと共に、各種取組を進めていきます。

石西礁湖は いま

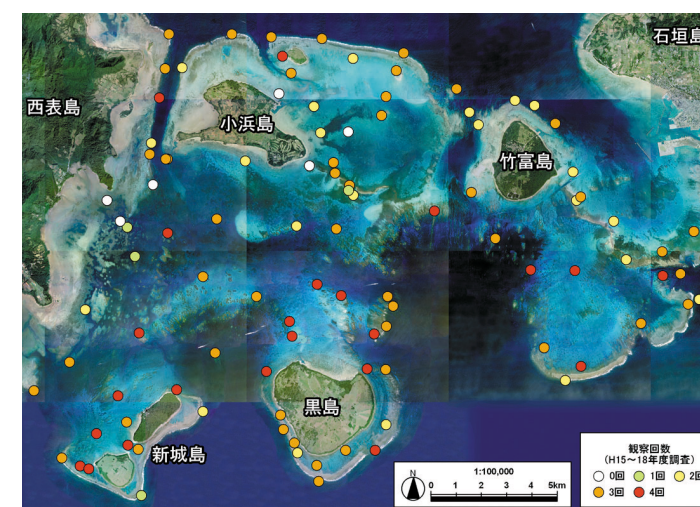
シリーズ⑤

サンゴの病気

類以上が確認されています。

いくつかの病気に関しては、分布、病状、感染しやすいサンゴ種、病原体などが明らかとなり、人畜由来の細菌類との関連が示唆されているものもありますが、未だ原因不明の病気も少なくありません。

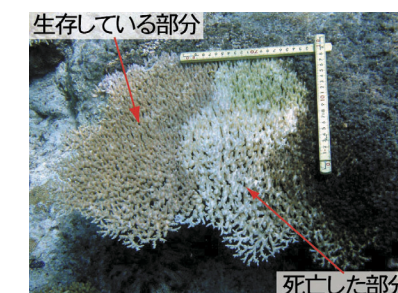
1999年、オーストラリアのグレートバリアリーフにおけるモニタリング調査で、ホワイトシンドロームと呼ばれるサンゴの病気が報告され、その後、他海域からも同様の観察例が報告され



↑モニタリング調査地点で過去4年間にホワイトシンドロームが観察された回数。

サンゴにダメージを与える大きな要因といえば、これまでこのシリーズで取り上げてきた「オニヒトデ」、「白化」、「赤土流入」などが挙げられますが、近年、「サンゴの病気」も世界的な問題となりつつあります。

サンゴの病気は1970年代以降、特にカリブ海で多くみられるようになり、現在では、太平洋のサンゴ礁域からの報告例も増加しています。これらの報告によると、サンゴの病気はブラックバンドディーズ(黒帯病)、ホワイトボックス(白痘)など20種



↑ホワイトシンドロームに罹患した卓状ミドリイシ類。スケールは一辺20cm。

ています。日本では、2003年頃から慶良間諸島や石西礁湖において類似した症状が観察されています。この病気の原因は現在のところ不明ですが、卓状ミドリイシ類に多くみられ、サンゴの組織が白い帯状に壊死しながら広がっていくことが知られています。

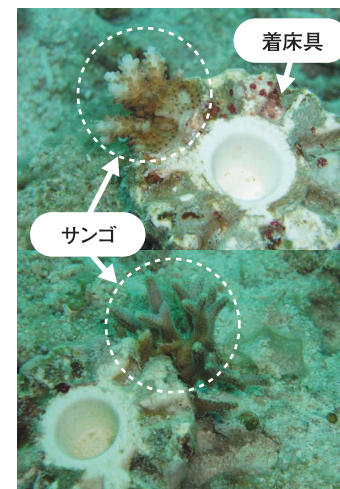
病変部の移動速度は、速いものでは直径2mの卓状ミドリイシが2週間で死滅したという例もあるようです。

石西礁湖では、環境省のサンゴ礁モニタリング調査(H18年度)において、123の調査地点中、113地点(約92%)においてホワイトシンドロームに罹ったサンゴがみつかっています。

これまでのところ、石西礁湖においてホワイトシンドロームによる大規模な被害は報告されていませんが、今後、新たな脅威となる可能性は十分にあります。まずは現状を把握するための情報収集を進めるとともに、原因究明と対処方法の構築が重要な課題となっています。

Gallery

石西礁湖ギャラリー

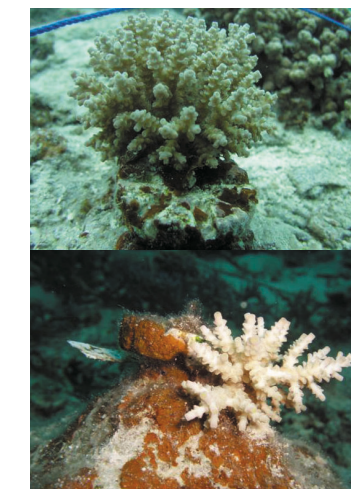


今回の石西礁湖ギャラリーでは、移植したサンゴの様子をお伝えします。

環境省では、サンゴの卵が付きやすい「着床具」というセラミック製の器具を使用して、サンゴの移植を行っています。

左の写真は2～3cmの大きさになった、サンゴの移植直後の写真です。

右の写真は移植後1年経ち、5cm程に成長した様子です。



※このコーナーに掲載する写真を募集しています。簡単なコメントと写真を裏面のお問い合わせ先までお送りください。皆さんの素晴らしい写真をお待ちしております。